

森山よしひさ



後援会ニュース

2013年10月
第19号

発行 森山植久後援会事務局

〒五五六-〇〇一五

大阪市浪速区敷津西二-1-22

YKビルディング一階A号室

TEL 〇六-六六三〇-八八〇〇

FAX 〇六-六六三〇-九二六〇

確定申告・税務相談等

中企連浪速

TEL 06-6630-7200

Fax 06-6630-9260

笑顔あふれる浪速区に!



市会議員の森山よしひさです。
ようやく過しやすくなり、区内では沢山のイベントが行われる季節になりました。この間、区内の幼稚園・小学校などの運動会へ行ってきました。

子どもたちが、元気いっぱいに楽しそうにがんばっている姿には感動させられます。これも運動会を成功させるために活動しておられるPTAの方々や地域の関係者、そして教職員の連携のたまものです。頭が下がる思いです。
地域の活動の原点に立ち返り、子どもの笑顔がもっと増える浪速区を目指し、皆さんと共にがんばってまいります。

今年、台風が昨年の倍以上の数が発生しています。防災への注意は忘れないようにお願いします。

市会で区民の声を訴える!

地道な政策と生活の積み上げこそ大切

平成25年9月12日市会（会期95日間）が始まりました。

9月20日に開かれた財政総務委員会では、市政改革プランによって、次々に閉鎖される市民施設や補助金がなくなる施設や施策について、市民の理解を求め、慎重に進めることなどを議論しました。

森山議員は市民交流センターの存続や公衆浴場の補助金の継続を質疑しました。

9月30日～10月4日に開かれた決算特別委員会では、交通局・水道局・病院・港湾など市が持つ企業体の決算状況を審議しました。森山議員は、市の安い水を他の市に売る事はできないのか、地

下鉄構内で天王寺・なんば・梅田と大型店舗をオープンするが、他駅でもスペースを見出してはどうかなどの提起をしました。

10月11日に開催された大都市税財政委員会では、副委員長として員会を運営しました。

大阪市の税の仕組みは、市域内では5兆円近い税収があるのに、市に独自に残るのは6000億円ほどになり、大都市を運営する財政配分になっていません。大都市の中で夜間人口と昼間人口の差が多いのも大阪市です。（国、府からの補助は夜間人口が基本）そのため、道路、生活環境、下水事業、消防などの予算がかかります。このような大阪市特有の問題を

クリヤすることが先決です。今回は8月に発表された、大阪市を5つ、7つに分割、解体するパッケージ案が出されました。大方の意見は、市の権限、財産を府に移管させる事への反対意見が多数でした。

森山議員からは、現在、大阪府役所の大阪府市大都市局に在る府の職員に対し、市の解体や府のメリットだけを考へてはいけな、大阪市民の事も考へるよう、そして、市内向け広報紙などを使って、「都構想はバラ色」という風な論調で市民を誘導するような表現は使用せず、しっかりと、メリットとデメリットを分かりやすく掲載するよう強く求めました。



財政総務委員会で質問する



大都市税財政委員会での質問

お知らせ

平成26年4月から
私立
もとまちさくらほいくえん
が開設予定です

0～5歳（定員70名）

7:30～18:30

浪速区元町3-6-1

03-3562-7839

平成26年3月で
大阪市立 日東南保育所
は閉園いたします



浪速区役所にて平成26年度保育所入所申込み中です

平成26年4月1日入所について入所申込書の配付及び受付を行っています。

入所を希望される方は必ず期間内にお申込みください。06-6647-9897(保健福祉センター)

入所申込書配付...平成25年10月15日(火)～平成25年11月1日(金)

入所申込受付...平成25年10月21日(月)～平成25年11月1日(金)

年度途中の入所を希望する場合は入所開始希望月の前月の5日(閉庁日の場合は翌閉庁日)までにお申込みください。(例:7月からの入所を希望する場合は6月5日までにお申込みください。)



大阪市教育委員会は10月8日、全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）について、小規模校を除く全校の校長が学校別の平均正答率を原則公表するように、内規を改定しました。

これまで大部分の学校では、「学校協議会」の意見を踏まえて校長が判断するとし、学校評議会で論議をし、校長の判断に委ねていたのが実態です。事実、結果を公表した市立小中学校は全429校のうち小学8校、中学11校の計19校にとどまり、このことと危機感をもった教育委員の中で公表推進派が多数決を測ったのです。

文部科学省は、9日「学校別の成績公表は各校の判断に委ねる

のが原則であるのに大阪市教委は学校運営の管理規則に『成績を公表する』と書き込んで、公表をしない校長は処分する方向性は実施要項に反すると説明しました。

公表による過度な学校評価やランク付けは、学校間の格差と地域の評価の格差を生み出します。浪速区の各学校の現状を見れば意味のないことです。

本来、子どもたちの学力を伸ばしてやりたい、保護者なら誰しも思うところです。先生もつと頑張つてと思うところもあるでしょう。

いのか、つくればいいのかということ。学力テストの結果に一喜一憂するのではなく、そのテストの中身が子どもにとって十分な学力の発展につながっていている、そうした教育内容をつくり上げる事が大切だと考えます。学力テストの「結果」はその一部でしかありません。

今日、親の収入と子どもの学力との関係が言われて久しくなりません。そのような中で育つ子どもたちは家庭を選べません。簡単に学校を選び転々とできる家庭はどれほどでしょうか。もちろん優れた素質は大きく羽ばたかせてやりたい、当然のことです。こうした、保護者や子どもたちの願いを実現するためには、もっと手厚い施策を学校教育へ注ぎ、今日の多様化するニーズに対応することが、実は解決へのもうひとつの近道であるように感じます。

問われている課題は、そのためにはどのような教育をすればいい



11月は

「児童虐待防止推進月間」

ためらわずに通告を！！

こんな子どもや家庭を見かけたら
連絡を！！

- ・不自然な外傷（打撲、火傷など）が見られる
- ・衣服が汚れている、元気がなく表情が暗い
- ・虚言、万引き、家出などの問題行動を繰り返す
- ・年齢にそぐわない性的な言動がみられる
- ・保護者が長期不在でいつも子どもだけにいる
- ・登校させず、食事を与えられていない
- ・大声をあげ、子どもや家庭に暴力をふるっている様子が感じられる

全国共通ダイヤル

0570-064-000

お住まいの地域の子ども家庭センター（児童相談所）に電話がつながります。PHSや一部のIP電話からはつながりません



地域の力で防災力アップ！



10月20日に区内で防災リーダーの講習会に参加してきました。当日は大雨で屋外での可搬式ポンプを使った訓練などはできなかつたのですが、AEDの使い方や三角布の使い方などを参加者と共にたっぷり学び、経験することの大切さを改めて感じました。地域の多くの方々が受講することで防災力はアップします！！



地域ひとりひとりの見守りを！

最近、子どもや女性をねらった、姑息で悪質な痴漢や付きまとい・声掛け等の事件が多発しています。区内の各地域では子どもの登下校時の見守り活動や青色パトロールなど、積極的な活動の隙間を縫うように、この数カ月毎週どこかで事件が起きています。ぜひとも区民の安全を確保するため、より多くの住民等が出る範囲で子どもや女性など弱者に目を向け見守る社会を更に発展させる必要があります。また、暗くなるまで遊んでいる児童・生徒を見かけたら、早く帰るよう「ひと声」をかけ、地域ぐるみで見守りを強化することが望まれます。

編集部より

このところ市長の議会に対しての次の一手というものが、首をかしげるものが多いような気がします。特に市立幼稚園民営化問題や市営地下鉄民営化問題です。幼稚園民営化問題に関しては保護者からもう少し中身を議論して、との反対の意見が圧倒的に多かったのに対し、9月19日に今度は公立幼稚園の保育料を私立幼稚園並みに値上げする様に指示しました。つまり私立と同じ授業料でも公立を残してほしいのか？と保護者に対して言っているのでしょうか。以前、高校の私学助成削減をめぐる意見交換会で、ある女子高生に対して「お金がないのなら公立高校へ行きなさい」と言つて物議をかもした経過を思い出しました。次に、地下鉄運賃について9月に初乗り運賃を10円下げ190円にする審議がありました。消費税率アップや南海トラフ対策の設備費用などで値下げは凍結されました。しかしながら市長は、10月15日に今度は現行の200円より20円値下げの180円の意向を示しました。10円の値下げも凍結なのに20円の値下げとは、どういうことなのでしょう。さらに、17日には民営化ができなかつた場合は現行の初乗り料金以上の値上げを示唆しました。地下鉄民営化問題に関しては議会でも継続審議ですが、事業形態と運賃問題は別論議であります。まさに、市民や議会を翻弄する手法には気を抜けません。